



道東エリア
根室市



まず子どもたちに魚を食べてもらいたい

2つの海が交わる恵まれた漁場だからこそ、海の変化や子どもの魚離れに対して敏感な危機意識を持つ3代目漁師。漁業や地域の発展のために率先して地道な活動を行う彼の原動力とは？

プロフィール

名前 横田 和馬 年齢 32

前職 高校新卒から就業

以前の居住地 根室市



新規就業を考えたきっかけから実行までのプロセス

祖父・父と漁師の家系に生まれ、幼少期から漁業を手伝う▶高校卒業後、鹿部町の北海道立漁業研修所で学び就業▶乗組員に

現在の仕事内容

シマエビ（ホッコイエビ）漁師の3代目です。漁期は夏と秋の2回あり、夏は6月下旬からの約1ヶ月間、秋は10月下旬からの約3週間。籠で獲ったシマエビを生きたまま塩茹でする加工から、包装まで自分で行って市場



に卸しています。漁期ではない時期は、サケ、サンマ、タラなど他の漁師の方々の船に乗って色々と教わりながら手伝っています。

仕事のやりがいや魅力

子どもの頃から船に乗って漁業を手伝っていたので、自然とこの仕事が好きになっていましたし、自分に向いていると思っています。シマエビは漁期が限られているため、ピーク時はまったく休みなしで目が回る程の忙しさですが、やればやっただけ収入になるのが一番のやりがいです。また自分ひとりで稼ぐだけでなく、定置網漁業など他の漁師仲間を手伝う共同作業が多いのも仕事の魅力で、色々な親方や先輩たちと楽しく働いています。



現在の暮らしや地域との交流

根室漁業協同組合青年部の同世代の18人で、地域の幼稚園や小学校を訪問し、漁師という仕事について知ってもらい、魚に親しんでもらうための料理教室を行っています。最初は照れもあり消極的な部員もいましたが、実際にやってみると子供たちに喜んでもらえるので皆楽しくなってきたようです。どの地域でも漁師には同じような悩みがあり高齢化も進んでいます。独身の漁師も多いので、婚活につながるイベントや異業種交流会など地域の若い方同士をつなぐ活動も行っています。

今後の目標

根室にはオホーツク海と太平洋の2つの海があるのが、他の地域にはない大きな特徴です。実際に沖に出ると2つの海の性質はまったく違いますし、海は毎日変化する



ため、その状態を見極められる目を養っていきたいです。また最近魚を切り身でしか見たことがない子どもも多いので、漁師も獲るだけではなく、魚のプロとして美味しい食べ方、さばき方を知っていただくための活動も大切だと思っています。地域や管内の他の漁協青年部との連携も活発になってきたので、色々な意見交換をしながら、恵まれた漁場を守り発展させていきたいです。

これから新規就業を目指す方へ

根室市では漁業や水産加工業の求人もありますので、ハローワークなどで探してみてください。漁船の甲板員など短期雇用の募集もあり、まずは体験として一度チャレンジしてみるのもよいと思います。